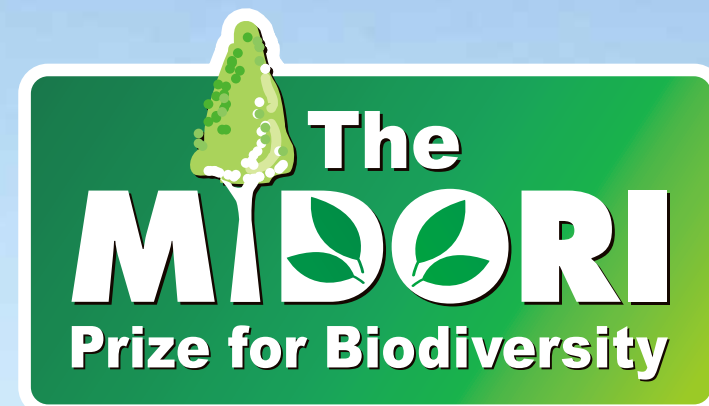


# 第7回「イオン生物多様性みどり賞 国内賞」 グランプリ決定



## グランプリ オーツーフาร์ม O2Farm (熊本県)

水稲栽培とあか牛の放牧、自伐型林業の複合経営により、世界農業遺産に認定された阿蘇の景観を守る活動を「ランドスケープ農業」と定義し、実践しています。本取り組みをきっかけに多くの若者が進んで移住している点は、今後の日本の「地域循環共生圏」づくりの体現モデルにもなると期待されています。

### 優秀賞



**尻別川の未来を考えるオビラメの会**  
(北海道)  
絶滅危惧種イトウ(サケ科)の  
個体群復元プロジェクト



**特定非営利活動法人 とうめ**  
(石川県)  
源流水による棚田経営・管理と  
動植物の多様性保全活動



**豊田鉄工株式会社**  
(愛知県)  
トヨタの森を活用した  
生物多様性啓発活動



**長野県上伊那農業高等学校  
コミュニティデザイン科  
グローバルコース** (長野県)  
河川の生態系に関わる昆虫食「ざざ虫」を  
未来へ残す活動

「イオン生物多様性みどり賞」は、生物多様性の保全と持続可能な利活用の推進、生物多様性の普及・啓発・共有において、顕著な功績が認められる学校・団体・企業・個人を顕彰する事業です。(公財)イオン環境財団は、国連生物多様性条約事務局(SCBD)とのパートナーシップ協定のもと、国内賞を2009年、国際賞を2010年に創設し、隔年で継続実施しています。今回グランプリを受賞した『O2Farm』は、「ランドスケープ農業」という新しい概念を提唱し、生物多様性のみならず、景観、文化・ライフスタイルにいたるまで統合的な保全を目指している点が評価されました。



上智大学での授賞式(2022年12月11日)

